

## 研究発表

### ▼口頭発表 セミナー室 5

【A-1～A-3】 22 日 14:05～14:50

【B-1～B-3】 23 日 9:00～ 9:45

【C-1～C-3】 23 日 10:00～10:45

### ▼ポスター発表 セミナー室 6・7

【P-1～P-15】 22 日 16:30～17:30

## 研究発表者の皆様へのお願いとお知らせ

### □頭発表

#### 1. 発表受付

当該セッション (A,B,C) の開始 5 分前に発表会場最前列にご集合ください。なお前演者の開始時には最前列の席にご着席ください。

#### 2. 発表機材・ソフト

(ア) 発表に使用する PC は、事務局で用意したもの (Windows Vista, マイクロソフトパワーポイント 2007) でお願ひします。マッキントッシュで作成されたものや他のプレゼンテーションソフトからコンバートされたものはレイアウトのズレや、アニメーションの不具合が生じる可能性があります。

(イ) 会場での動作確認は 1 日目：13:15～13:45、2 日目：8:15～8:45 に行ってください。

(ウ) データは PC のデスクトップ上にコピー保存ください。大会終了後すべて破棄します。

#### 3. 発表資料

研究発表に関する資料配付を希望される方は、発表受付時に 60 部をご用意ください。また資料には「発表番号」「演題」「氏名」を必ずご記入ください。

#### 4. 発表時間

発表時間 12 分、質疑応答 3 分、計 15 分とします。(1 鈴 10 分、2 鈴 12 分、3 鈴 15 分)

### ポスター発表

#### 1. 会場 セミナー室 6・7

#### 2. 発表 (発表者在席) 時間

9 月 22 日 16:30～17:30

#### 3. 発表方法

(ア) 発表時間内で、発表者と質問者で自由に討議する形式とします。

(イ) 発表時間内は、発表者はポスターの前に待機してください。

(ウ) 発表は原則として発表抄録集とポスターによるものとしますが、補足資料の配付を希望される方は配布プリントを 60 部をご用意ください。配布は発表者が行ってください。

(エ) ポスター掲示は引き続き 23 日まで行ってください。

#### 4. ポスターの展示と撤収について

(ア) 発表会場に、発表番号を記した展示用パネル (段ボール) とセロテープ等を用意します。ポスター発表者は 9 月 22 日 16:30 までにポスターを展示してください。

(イ) サイズは幅 900mm×高さ 1200mm です。特別な規定はありませんので、ご自由に展示ください。

(ウ) 発表後の撤収は、23 日の閉会后 15:30 までにお願ひします。(15:00 閉会后すぐにご出発の方は公開シンポジウム開始までにお願ひします。) ポスターや配布資料の残部につきましては必ずお持ち帰りをお願ひします。

## 研究発表スケジュール

### <口頭発表>

#### 22日<セッションA> セミナー室5

発表時間	番号	演題	発表者	座長
14:05~14:20	A-1	短時間のウォーミングアップにより運動中の脂質酸化量が増大する	佐古隆之（日本女子大学家政学部食物学科）	長崎浩爾 （財団法人北陸体力科学研究所）
14:20~14:35	A-2	幼児の立幅跳における跳躍距離調節についての一考察	関智美（奈良佐保短期大学）	
14:35~14:50	A-3	美容術によるソーシャル・イノベーション「まちと女性を元気にしたい」取り組みから	三田果菜（同志社大学大学院総合政策科学研究科）	

#### 23日<セッションB> セミナー室5

発表時間	番号	演題	発表者	座長
9:00~9:15	B-1	大学新入生を対象にした料理教室の実践報告	◎三谷規子（お茶の水女子大学特設教育研究センター）、赤松利恵（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科）	佐藤和子 （島根大学医学部看護学科）
9:15~9:30	B-2	京都・大原地区における農的ウェルネスライフの実践その2	◎西村和代、西村仁志（同志社大学大学院総合政策科学研究科）	
9:30~9:45	B-3	沖縄やんばる地域における大学ゼミ生と農林高校生のコラボレーションによる小学校への出前授業の実践から	◎前川美紀子（名桜大学人間健康学部）、杉本英夫（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）	

#### 23日<セッションC> セミナー室5

発表時間	番号	演題	発表者	座長
10:00~10:15	C-1	勇気づけの視点から捉える、夢の効用とウェルネス	水田隆憲（ヒューマン・トータルアプローチ研究所主宰）	杉本英夫 （桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）
10:15~10:30	C-2	高齢期のウェルネスを支援するカウンセリング	奈倉道隆（四天王寺大学大学院）	
10:30~10:45	C-3	指定管理者制度を活用した健康保健福祉政策の展開—水夢館（北海道稚内市）を事例として—	二宮雅也（稚内北星学園大学）	

## <ポスター発表>

22日 セミナー室6・7

会場責任者：石田佳子・野之上操（同志社女子大学）

発表時間	番号	演題	発表者
16:30～17:30	P-1	運動・体育に対する意識	◎常本智史（文教大学大学院人間科学研究科）、宮田浩二（文教大学人間科学部）
	P-2	地域医療施設におけるアンチエイジングの試み	清水文絵（同志社大学大学院総合政策科学研究科）
	P-3	保育士の蓄積疲労について	◎水田和江（西南女学院大学短期大学部）、鈴木隆男（比治山大学短期大学部）、鈴木雅裕（近大姫路大学）、上村眞生（西南女学院大学）
	P-4	ウエルネスとしての月経～布ナプキンという選択肢	小野千佐子（同志社大学大学院総合政策科学研究科）
	P-5	スポーツ参加の動機づけの現状	◎石泰久、菊池啓太、長田洋亮、加藤恭章、中島宣行（順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科体育心理学研究室）
	P-6	健康科学系大学生におけるパーソナリティと健康意識の関係性について	◎伊藤詩織、中島宣行、菊池啓太、高橋舞衣、那須野歩（順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科体育心理学研究室）
	P-7	子どもの生活習慣と健康 4	鈴木隆男（比治山大学短期大学部）
	P-8	視覚障がい者によるリラクゼーション・サービスの提供について	後藤祥子（同志社大学大学院総合政策科学研究科）
	P-9	大学初年次教育における保健体育科目の重要性	水村信二（明治大学文学部）・桑森真介（明治大学商学部）
	P-10	腱板断裂手術患者の療養生活支援 ～ウォーキング実践と生活活動量の測定～	佐藤和子（島根大学医学部看護学科）
	P-11	NWC (National Wellness Conference) から派生した国際化の潮流に関する検討	野坂俊弥（長野県看護大学）
	P-12	東洋の健康（観）とウエルネス	◎和田勝（日本大学工学部）、野崎康明（日本ビューティウエルネス研究所）
	P-13	大学生を対象とした生活習慣と性行動に関する調査	齋藤太（京都YMCA国際福祉専門学校元講師）
	P-14	健康増進施設での健康づくり教室の実践例	◎長崎浩爾、勝木建一、勝木道夫（財団法人北陸体力科学研究所）
	P-15	ベンチステップ運動における健康づくり事業の取り組み	土井由紀子（精華女子短期大学）